

平成18年度 病害虫発生予察情報 注意報第1号

平成18年8月4日
島 根 県

斑点米カメムシ類の発生が多く、ハナエチゼンや出穂したコシヒカリではカメムシ類が高密度に生息する圃場がみられます。今後、斑点米が多発生の恐れがあるので注意報を発表します。

記

1. 病害虫名 斑点米の原因となるカメムシ類
2. 発生地域 県下全域
3. 発生時期 8月～
4. 発生量 多い
5. 注意報発表の根拠
 - 1) 7月26～31日に出穂している圃場ですくい取り調査を行ったところ、発生圃場率は75.0%(平成17年:67.6%)、平均頭数は10.5頭(平成17年:5.8頭)でともに平成17年に比べて多い。特にホソハリカメムシ、アカスジカスミカメの生息密度が平成17年に比べて高く、すでに幼虫が発生している圃場が散見される。
 - 2) 予察灯でのアカスジカスミカメの誘引数は256頭(7月下旬累積、平成17年50.9頭、前年97頭)で平成17年に比べて多い。
 - 3) 1ヶ月予報(7月28日広島地方気象台発表)によると、気温は平成17年並みか高く、晴れる日が多い見込みであり、カメムシ類の増殖に好適な条件が予想される。
6. 防除対策および防除上の注意事項
 - 1) 出穂前後の除草はカメムシを水田内へ追い込むことになるので、除草作業後に粉剤、液剤での防除を行うか、無人ヘリなどの防除計画に合わせて行うようにする。また、水田内のヒエ穂などはカメムシ類の増殖源となるので早急に処分する。
 - 2) 粉剤、液剤による防除は、第1回目は穂揃期の3日後、第2回目はその10日後に散布する。その後、圃場に成虫や幼虫の発生が認められる場合には追加防除を行う。畦畔などにイネ科雑草がある場合は、畦畔を含めて散布する。広域的な一斉防除を行うとより効果的である。
 - 3) 粒剤による防除は出穂7～10日後に湛水状態でを行い、その後成虫や幼虫の発生に応じて追加防除を行う。
 - 4) 薬剤の使用に当たっては、農薬の使用基準ならびに農作物病害虫雑草防除指針の注意事項を遵守する。
7. 薬剤による防除
 - 1) 種類、使用時期、使用回数及び使用量・濃度(本田期)

薬 剤 名	使用時期、使用回数及び使用量・濃度(本田期)	系統名
スミチオン乳剤	収穫21日前まで 3回以内 1000倍	有機リン系
スミチオン粉剤3DL	収穫14日前まで 3回以内 (ただし出穂前は1回) 3～4kg/10a	

薬 剤 名	使用時期、使用回数及び使用量・濃度(本田期)			系統名	
バイジット乳剤	収穫 30 日前まで	1 回以内	1000倍	有機リン系	
バイジット粉剤2DL	収穫 21 日前まで	2 回以内	3~4kg/10a		
トレボンEW	収穫 21 日前まで	3 回以内	1000倍	合成ピレスロイド系	
トレボン水和剤	収穫 21 日前まで	3 回以内	2000倍		
トレボン乳剤	収穫 21 日前まで	3 回以内	2000倍		
トレボン粉剤DL	収穫 7 日前まで	3 回以内	3~4kg/10a		
MR. ジョーカーEW	収穫 14 日前まで	2 回以内	2000倍		
MR. ジョーカー粉剤DL	収穫 7 日前まで	2 回以内	3~4kg/10a		
ベストガード粉剤DL	収穫 14 日前まで	4 回以内	4kg/10a		ネオニコチノイド系
ベストガード粒剤	収穫 14 日前まで	4 回以内	4kg/10a		
アドマイヤー粉剤DL	収穫 21 日前まで	2 回以内	4kg/10a		
スタークル粉剤DL アルバリン粉剤DL	収穫 7 日前まで	3 回以内	3kg/10a		
スタークル粒剤 アルバリン粒剤	収穫 7 日前まで	3 回以内	3kg/10a		
ダントツ水溶剤	収穫 14 日前まで	3 回以内	4000倍		
ダントツ粉剤DL	収穫 14 日前まで	3 回以内	3~4kg/10a		
ダントツ粒剤	収穫 14 日前まで	3 回以内	3~4kg/10a		
チェス水和剤	収穫 14 日前まで	2 回以内	2000倍	その他	
キラップフロアブル	収穫 14 日前まで	2 回以内	1000~2000倍		
キラップ粉剤DL	収穫 14 日前まで	2 回以内	3~4kg/10a		

2) 散布時期および回数

粉剤と液剤は穂揃期 3 日後とその 10 日後の 2 回、粒剤は出穂 7 ~ 10 日後に散布する。その後は発生に応じて散布する。

3) 散布量

10 a 当り液剤150㍓、粉剤、粒剤は所定量を散布する。

8. 付表

第1表 出穂した水稻におけるカメムシ類の発生状況 (7月下旬)

年次	発生圃場率 (%)	合計 (頭)	ホソハリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	シラホシカメムシ	クモヘリカメムシ	アカスジカスミカメ
2006	75.0	10.5	1.7	0.6	0.0	1.8	6.4
平均	67.6	5.8	2.0	0.7	0.2	0.6	2.4
2005	73.0	5.8	1.0	0.3	0.0	1.4	3.1
2004	78.6	5.1	0.3	0.5	0.0	0.0	4.5
2003	78.0	5.0	1.6	0.7	0.4	0.1	2.1
2002	46.0	7.4	4.2	0.2	0.4	0.9	1.7
2001	85.3	10.9	4.1	1.1	0.1	0.9	4.7
2000	80.5	9.9	2.7	2.0	0.2	1.2	3.8
1999	82.6	6.8	2.1	1.5	0.6	1.6	1.0
1998	52.0	3.1	1.2	0.4	0.0	0.0	1.5
1997	56.3	3.3	1.8	0.2	0.0	0.0	1.3
1996	41.7	1.0	0.5	0.2	0.0	0.3	0.0
1995	55.6	2.9	2.2	0.2	0.2	0.2	0.1

